

【表紙】

| | |
|------------|-----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 北海道財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年10月13日 |
| 【四半期会計期間】 | 第58期第1四半期（自平成23年6月1日至平成23年8月31日） |
| 【会社名】 | 株式会社テーオー小笠原 |
| 【英訳名】 | T.O. OGASAWARA CO., LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 小笠原 康正 |
| 【本店の所在の場所】 | 北海道函館市港町三丁目18番15号 |
| 【電話番号】 | (0138) 45 - 3911 (代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役副社長統括管理本部本部長 小笠原 尚武 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 北海道函館市港町三丁目18番15号 |
| 【電話番号】 | (0138) 45 - 3911 (代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役副社長統括管理本部本部長 小笠原 尚武 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号) |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第57期 第1四半期連結 累計期間 | 第58期 第1四半期連結 累計期間 | 第57期 |
|------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年6月1日 至平成22年8月31日 | 自平成23年6月1日 至平成23年8月31日 | 自平成22年6月1日 至平成23年5月31日 |
| 売上高 (千円) | 8,346,007 | 8,031,080 | 33,536,278 |
| 経常利益 (千円) | 236,245 | 275,377 | 111,838 |
| 四半期(当期)純利益 (千円) | 106,596 | 257,495 | 154,882 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 32,318 | 267,029 | 211,317 |
| 純資産額 (千円) | 4,111,627 | 3,856,294 | 3,609,715 |
| 総資産額 (千円) | 33,022,499 | 30,294,879 | 29,852,276 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 12.27 | 41.17 | 20.73 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 15.0 | 12.7 | 12.1 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第57期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ギリシャの財政危機に端を発し、欧州債務危機が広がり、円高と世界景気の減速及び東日本大震災の影響により厳しい状況で推移いたしました。また、このような状況に伴う株式市場の低迷、個人消費及び雇用情勢も依然として回復の兆しが見えなく、当社を取り巻く環境は改善されておりません。

このような経済環境の中、当社グループは木材事業の再編に伴う組織の変更及び担当役員の職務の異動等を実施し、販売力と管理体制の強化に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が8,031百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は290百万円（同34.6%増）、経常利益は275百万円（同16.6%増）、四半期純利益は257百万円（同141.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

木材事業におきましては、東日本大震災の影響による公共工事及び設備投資の減少に伴いフローリング（床板）施工受注が減少したことなどにより、売上高、営業利益ともに前年同期の水準を確保できませんでした。

この結果、売上高は2,763百万円（同18.9%減）、営業利益は51百万円（同44.4%減）となりました。

流通事業におきましては、個人消費の低迷により、業界全体が引き続き厳しい状況にあります。北海道旭川市にホームセンター「イエローグローブ」を新規開店するなど販売力の強化に努めました。

この結果、売上高は4,194百万円（同3.8%増）、営業利益は129百万円（同25.8%増）となりました。

住宅事業におきましては、所得が減少するなど雇用情勢は依然と厳しく戸建住宅に対する需要は引き続き低迷しておりますが、完成工事原価及び経費の見直しなどにより利益体質の向上に努めました。

この結果、売上高は395百万円（同16.4%減）、営業利益は53百万円（前年同期は43百万円の損失）となりました。

建設事業におきましては、工事受注及び引き渡し件数は増加したものの、同業他社との競合は激化しており、妙味の薄い取引が続きました。

この結果、売上高は348百万円（同251.1%増）、営業損失は11百万円（前年同期は18百万円の損失）となりました。

不動産賃貸事業におきましては、売上高は155百万円（同1.2%減）、営業利益は65百万円（同20.9%減）となりました。

サービス等事業におきましては、売上高は174百万円（同2.7%増）、営業利益は5百万円（同24.3%増）となりました。

（2）財政状態の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は30,294百万円となり、前連結会計年度末に比べ442百万円増加しました。流動資産につきましては、主に現金及び預金が104百万円、販売用不動産が111百万円それぞれ減少したものの、受取手形及び売掛金が289百万円、商品及び製品が251百万円増加したことなどにより、505百万円増加しております。固定資産につきましては、全体で63百万円減少しております。

負債合計は26,438百万円となり、前連結会計年度末に比べ196百万円増加しました。流動負債につきましては、主に支払手形及び買掛金が232百万円増加したものの、短期借入金が820百万円減少したことなどにより580百万円減少しております。固定負債につきましては、主に長期借入金が766百万円増加したことなどにより776百万円増加しております。

純資産は、3,856百万円となり前連結会計年度末に比べ246百万円増加いたしました。

（3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

（4）研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 22,000,000 |
| 計 | 22,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年8月31日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年10月13日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名 | 内容 |
|------|------------------------------------|------------------------------|----------------------------|-----------|
| 普通株式 | 8,926,896 | 8,926,896 | 大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード) | 単元株式数100株 |
| 計 | 8,926,896 | 8,926,896 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総数増減数(株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額(千円) | 資本金残高(千円) | 資本準備金増減額(千円) | 資本準備金残高(千円) |
|----------------------|---------------|--------------|------------|-----------|--------------|-------------|
| 平成23年6月1日～平成23年8月31日 | - | 8,926,896 | - | 1,775,640 | - | 1,953,655 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年5月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年8月31日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式（自己株式等） | - | - | - |
| 議決権制限株式（その他） | - | - | - |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 2,614,900 | - | - |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 6,309,000 | 63,090 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 2,996 | - | - |
| 発行済株式総数 | 8,926,896 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 63,090 | - |

【自己株式等】

平成23年8月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%） |
|-------------|-------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社テーオー小笠原 | 北海道函館市港町三丁目18番15号 | 2,614,900 | - | 2,614,900 | 29.30 |
| 計 | - | 2,614,900 | - | 2,614,900 | 29.30 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,013,385 | 908,507 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,113,003 | 3,402,714 |
| 営業貸付金 | 1,306,699 | 1,273,435 |
| 商品及び製品 | 3,116,012 | 3,367,337 |
| 販売用不動産 | 4,654,845 | 4,543,633 |
| 原材料及び貯蔵品 | 836,378 | 879,405 |
| 未成工事支出金 | 118,081 | 196,027 |
| その他 | 1,551,292 | 1,622,822 |
| 貸倒引当金 | 758,634 | 737,151 |
| 流動資産合計 | 14,951,064 | 15,456,730 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,542,425 | 3,383,718 |
| 貸貸用資産(純額) | 4,005,356 | 4,220,171 |
| 土地 | 4,379,012 | 4,247,068 |
| その他(純額) | 323,470 | 352,631 |
| 有形固定資産合計 | 12,250,265 | 12,203,590 |
| 無形固定資産 | 70,681 | 69,558 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,392,071 | 1,409,804 |
| その他 | 1,323,902 | 1,302,460 |
| 貸倒引当金 | 135,709 | 147,264 |
| 投資その他の資産合計 | 2,580,264 | 2,565,000 |
| 固定資産合計 | 14,901,211 | 14,838,149 |
| 資産合計 | 29,852,276 | 30,294,879 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,142,917 | 5,374,950 |
| 短期借入金 | 15,259,531 | 14,439,515 |
| 未払法人税等 | 10,445 | 25,484 |
| 引当金 | 141,176 | 140,756 |
| その他 | 1,003,748 | 996,960 |
| 流動負債合計 | 21,557,819 | 20,977,667 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,462,421 | 4,228,772 |
| 引当金 | 242,596 | 253,838 |
| その他 | 979,723 | 978,307 |
| 固定負債合計 | 4,684,741 | 5,460,917 |

| | 前連結会計年度 (平成23年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債合計 | 26,242,560 | 26,438,585 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,775,640 | 1,775,640 |
| 資本剰余金 | 1,953,655 | 1,953,655 |
| 利益剰余金 | 1,233,493 | 1,472,053 |
| 自己株式 | 1,300,967 | 1,302,483 |
| 株主資本合計 | 3,661,821 | 3,898,866 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 52,105 | 42,572 |
| その他の包括利益累計額合計 | 52,105 | 42,572 |
| 純資産合計 | 3,609,715 | 3,856,294 |
| 負債純資産合計 | 29,852,276 | 30,294,879 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日) |
|---------------------|---|---|
| 売上高 | 8,346,007 | 8,031,080 |
| 売上原価 | 6,667,057 | 6,295,775 |
| 売上総利益 | 1,678,950 | 1,735,304 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,463,269 | 1,445,065 |
| 営業利益 | 215,680 | 290,238 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,964 | 2,381 |
| 受取配当金 | 42,412 | 30,825 |
| 受取保険金 | 20,020 | 7,454 |
| その他 | 54,660 | 31,764 |
| 営業外収益合計 | 119,058 | 72,425 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 86,673 | 66,645 |
| その他 | 11,819 | 20,640 |
| 営業外費用合計 | 98,493 | 87,285 |
| 経常利益 | 236,245 | 275,377 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産廃棄損 | 2,769 | - |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 23,351 | - |
| その他 | 4,818 | - |
| 特別損失合計 | 30,939 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 205,306 | 275,377 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 100,289 | 6,966 |
| 法人税等調整額 | 4,763 | 10,915 |
| 法人税等合計 | 105,053 | 17,882 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 100,252 | 257,495 |
| 少数株主損失() | 6,343 | - |
| 四半期純利益 | 106,596 | 257,495 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 100,252 | 257,495 |
| その他の包括利益 | | |
| 其他有価証券評価差額金 | 67,934 | 9,533 |
| その他の包括利益合計 | 67,934 | 9,533 |
| 四半期包括利益 | 32,318 | 267,029 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 44,217 | 267,029 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 11,899 | - |

【追加情報】

| |
|---|
| <p>当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)</p> |
| <p>(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。</p> |

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形割引高

| | 前連結会計年度 (平成23年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年8月31日) |
|---------|-------------------------|------------------------------|
| 受取手形割引高 | 2,186,685千円 | 1,499,127千円 |

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書及び前第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 140,357千円 | 130,017千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

配当金支払額

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 | 1株当たり 配当額 | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------|--------------|------------|------------|-------|
| 平成23年8月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 18,935千円 | 3円 | 平成23年5月31日 | 平成23年8月26日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | | 計(千円) |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|---------------|---------------|-----------|
| | 木材 (千円) | 流通 (千円) | 住宅 (千円) | 建設 (千円) | 不動産賃貸 (千円) | サービス等 (千円) | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,406,407 | 4,040,425 | 473,275 | 99,156 | 157,017 | 169,724 | 8,346,007 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 4,052 | - | - | 1,590 | 6,850 | 9,827 | 22,320 |
| 計 | 3,410,459 | 4,040,425 | 473,275 | 100,746 | 163,868 | 179,551 | 8,368,327 |
| セグメント利益又は損失() | 92,241 | 102,818 | 43,483 | 18,075 | 83,164 | 4,700 | 221,366 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

| 利益 | 金額(千円) |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 221,366 |
| セグメント間取引消去 | 55 |
| 全社費用(注) | 5,630 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 215,680 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | | | 計(千円) |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|---------------|---------------|-----------|
| | 木材 (千円) | 流通 (千円) | 住宅 (千円) | 建設 (千円) | 不動産賃貸 (千円) | サービス等 (千円) | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,763,446 | 4,194,499 | 395,694 | 348,131 | 155,072 | 174,235 | 8,031,080 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 34,696 | - | - | 6,556 | 4,864 | 7,312 | 53,430 |
| 計 | 2,798,143 | 4,194,499 | 395,694 | 354,687 | 159,937 | 181,548 | 8,084,510 |
| セグメント利益又は損失() | 51,334 | 129,365 | 53,948 | 11,458 | 65,785 | 5,842 | 294,817 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

| 利益 | 金額(千円) |
|-----------------|---------|
| 報告セグメント計 | 294,817 |
| セグメント間取引消去 | 501 |
| 全社費用(注) | 5,080 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 290,238 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日) |
|---------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 12円27銭 | 41円17銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 106,596 | 257,495 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 106,596 | 257,495 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 8,688,837 | 6,255,245 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年10月13日

株式会社テーオー小笠原
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任
社員
業務執行社員

公認会計士

柴口 幹男 印

指定有限責任
社員
業務執行社員

公認会計士

齊藤 揮誉浩 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社テーオー小笠原の平成23年6月1日から平成24年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日）及び第1四半期連結累計期間（平成23年6月1日から平成23年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社テーオー小笠原及び連結子会社の平成23年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 . 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 . 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれておりません。